

脳卒中対策 数値目標

1 目指す姿

指 標	現状	目標	目標値の考え方	データ出典	取り組みの主体
脳血管疾患の年齢調整死亡率 (人口10万人あたり)	R2年 男性 99.9 女性 52.4	R11年 93.8 現状より低下	全国平均並みへ改善 (現状より低下)	人口動態統計特殊報告	—
脳血管疾患の年齢階級別死亡率 (人口10万人あたり)	R2年(男性) 70-74歳 131 65-69歳 99.5 60-64歳 59.0 55-59歳 60.6 50-54歳 30.1 45-49歳 14.8 40-44歳 28.5 R2年(女性) 70-74歳 56.8 65-69歳 22.9 60-64歳 17.6 55-59歳 20.4 50-54歳 23.8 45-49歳 13.3 40-44歳 10.2	R11年(男性) 現状より低下 85.3 53.9 35.6 26.4 現状より低下 10.9 R11年(女性) 現状より低下 現状より低下 現状より低下 15.8 14.0 9.2 4.9	全国平均並みへ改善 (現状より低下)	人口動態統計特殊報告	—
脳内出血の年齢調整死亡率 (人口10万人あたり)	R2年 男性 33.6 女性 18.3	R11年 31.9 16.3	全国平均並みへ改善	人口動態調査特殊報告	—
在宅等の生活の場に復帰できた患者の割合	R2年 48.8%	R11年 54.4%	全国平均並みへ改善 (現状より向上)	医療計画データブック	—

2 取り組む施策

(1) 救護

指 標	現状	目標	目標値の考え方	データ出典	取り組みの主体
t-PAの実施数	R4年度 102件	R11年度 現状より増加	現状より向上	県医療政策課調査	—
脳卒中の症状、対処法等の普及啓発のための市民公開講座等の実施数	R4年度 4件	R11年度 5件	現状より向上	日本脳卒中協会沖縄県支部	医療機関 消防機関
救急搬送時の脳卒中評価スケールを標準化し実施している消防機関数	R4年度 15箇所	R11年度 18箇所	全ての消防機関で標準実施	県医療政策課調査	消防機関

(2) 急性期医療

指 標	現 状	目 標	目標値の 考え方	データ出典	取り組み の主体
血管内治療の実施件数	R4年度 377件	R11年度 現状より増加	現状より向上	県医療政策 課調査	-
遠隔診断補助及び搬送の連携 体制構築数（医療圏数）	R4年度 0圏域	R11年度 3圏域	北部、宮 古、八重山 圏域で構築	県医療政策 課調査	医療機関
脳神経外科医の数	R4年 北部 0 中部 8 南部 33 宮古 2 八重山 1	R11年度 全ての医 療圏での 提供が可 能な体制 を確保	全ての医療 圏での提供 が可能な体 制を確保	県医療政策 課調査	医療機関 県 大学
脳神経内科医の数	R4年 北部 0 中部 4 南部 13 宮古 0 八重山 0	R11年度 全ての医 療圏での 提供が可 能な体制 を確保	全ての医療 圏での提供 が可能な体 制を確保	県医療政策 課調査	医療機関 県 大学
超急性期t-PAが24時間実施可 能な医療機関数	R4年度 北部 0 中部 4 南部 7 宮古 1 八重山 1	R11年度 全ての医 療圏での 提供が可 能な体制 を確保	全ての医療 圏での提供 が可能な体 制を確保	県医療政策 課調査	医療機関
外科手術が24時間実施可能な 医療機関数	R4年度 北部 0 中部 3 南部 7 宮古 1 八重山 1	R11年度 連携も含 めた医療 提供体制 の確保	連携も含め た医療提供 体制の確保	県医療政策 課調査	医療機関
脳血管内手術が24時間実施可 能な医療機関数	R4年度 北部 0 中部 2 南部 6 宮古 1 八重山 0	R11年度 連携も含 めた医療 提供体制 の確保	連携も含め た医療提供 体制の確保	県医療政策 課調査	医療機関 消防機関

(3) リハビリテーション

指 標	現 状	目 標	目標値の 考え方	データ出典	取り組み の主体
脳卒中患者のFIM利得数	R2年度 25.2	R11年度 現状より 増加	現状より向上	おきなわ脳卒 中地域連携委 員会	医療機関
おきなわ津梁ネットワーク脳卒 中登録件数	R4年度 7,492件	R11年度 新規発症 者の全例 登録	新規発症者 の全例登録	県医師会	県医師会 医療機関 県民
急性期リハビリテーションの 提供単位数（単位数/日・ 人）	R4年度 3.41	R11年度 2.8	H23厚労省チ ーム医療推 進方策検討W G資料（急性 期リハ平均 単位数）	県医療政策 課調査	医療機関
回復期リハビリテーション病 棟がある二次医療圏数	R4年度 4	R11年度 5	全ての二次 医療圏での 確保	九州厚生局 届出医療機 関名	医療機関
おきなわ脳卒中地域連携パス を実施している急性期病院数	R4年度 11施設	R11年度 現状より 増加	現状より増加	おきなわ脳卒 中地域連携委 員会	医療機関
介護保険によるリハ提供数 ①訪問リハビリテーションの提供単 位数（千単位数/日・人） ②通所リハビリテーションの提供体 位数（千単位数/日・人）	R3年度 0.8 12.1	R11年度 現状より増加 現状より増加	現状より向上	介護保険事 業状況報告	介護事業 所
脳卒中による入院と同月に摂 食機能療法を実施された患者 数（レセプト数）	R3年度 2,147件	R11年度 現状より増加	現状より増加	医療計画デ ータブック	医療機関
歯科医師連携加算（栄養サポ ートチーム加算）レセプト数	R3年度 1,776件	R11年度 現状より増 加	普及促進に より増加	NDBオー プンデータ	医療機関

(4) 脳卒中患者への相談支援

指 標	現 状	目 標	目標値の 考え方	データ出典	取り組み の主体
脳卒中相談窓口での相談対応 件数	R4年度 102件	R11年度 現状より増 加	現状より増加	県医療政策 課調査	医療機関 県
高次脳機能障害支援拠点機関 の相談支援件数	R4年度 1,332人	R11年度 現状より増 加	現状より向 上	県障害福祉 課調査	医療機関 県